

東京 11

発走 15:45

第67回ダイヤモンドステークス(CII) (4歳以上・オープン・雌馬限定・ハンデ)

Main race table with columns for race numbers (15, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1), horse names, jockeys, trainers, and various statistics.

芝3400 section with a logo and text: 芝 3,29.4 モンテクリスエス 53 北村友三 21年2月15日

【今回推定タイム】 良 3.32秒台 重 3.35秒台

- ① 2東(5)29 ② 2東(6)22 ③ 2東(7)21 ④ 2東(8)20 ⑤ 2東(9)19 ⑥ 2東(10)18 ⑦ 2東(11)17 ⑧ 2東(12)16 ⑨ 2東(13)15 ⑩ 2東(14)14

①場所(馬場状態)月日 ②競走名 条件 着順 ③距離 時計 ④体重 単勝 ⑤負担重 騎手 ⑥頭数 枠順 人気 ⑦通過順 前半3F ⑧短評 ⑨ハイクラス ⑩1着または2着馬名

【ポイント】ステイヤーズS連覇果たしたアルバート、このレース①②着フエイムゲームがともに58。近年ハンデ頭は堅実で、そろって消える場面は想像しづらい。軽量馬の

①フアタモルガーナ(上位争) 中では距離適性高く引き続き51のラブラドや、前走比2キロ減が効きそうなフレスト。

○佐藤助手 放牧を挟むのはいつものパターンだが、今回は帰既してからの日が浅い。東京に変わって切れ味勝負にならないように、早めの競馬を。

○友道師 毛づやが良く、柔らかいとも出て気配は上向き。得意な条件に変わって、どこまでやるのか楽しみ。 ③トーセンレヴ ④ラブラドライト(再度注)

延びたが、追い切りは2週前よりだいぶ良くなっている。ズブきが出てきた生かなら、長丁場の方が持ち味を生かせる。 ④ラブラドライト ⑤フレスト

本紙の見解 距離適性高いアルバート アルバートはステイヤーズS二連覇達成のステイヤヤー。東京コース3勝の実績からも、今回の条件に不足はなく、心視。死角があるとするれば58キロのハンデだが、春の天皇賞⑥着の内容から自身は大丈夫。ハンデ差をつける伏兵はいても、あくまで可能性に留まる。長距離実績互角のフエイムゲーム、衰えないフアタモルガーナが相手。【力接近】

馬単 12 7 12 4 7 12 7 8 12 6 7 12 1 4 12 1 8 12 1 8 12 4 8 12 4 6 12 3連複 1 7 12 4 7 12 7 8 12 6 7 12 1 4 12 1 8 12 1 8 12 4 8 12 4 6 12

柏木の単連 アルバートは3600mのステイヤーズS2連覇。4走前の天皇賞(春)2000mが0秒5差だけ。6歳馬ながらまだ22戦だけ。消耗は少ない。妙味ラブラドライト。

《払戻率について》
中央競馬における勝馬投票法(1)の払戻率は以下の通りです。
○単勝・複勝：80・0%
○枠連・馬連・ワイド：77・5%
○馬単・3連複：75・0%
○3連単：72・5%
○WIN5：70・0%
JRA 日本中央競馬会

競馬人情
吉川良

北朝鮮の金正男氏がマレーシアで毒殺された模様と伝えるテレビのニュースを見ていた2月15日の夜、電話がかかり、「突然ですみません。去年の暮れに喪中ハガキを送らせてもらったコバヤシシノルの孫です」と男の声がした。
昔、J R 神田駅近くでバーを営んでいた小林実さんと、廃業後も年賀状は続いていた。「今週はダイヤモンドSで、爺が死ぬ何日前に、一所懸命に話したのを思い出したんです。ダイヤモンドSで大穴を取って、吉川さんと熱海に行っちゃった。そのとき、連れてってもらったのがぼくで、ワタルです。」

編集長の目録

種牡馬キングカメハメハ(16)は、過去7年の全日本ダート限定種牡馬ランキング、
④①①②②②位の好成績。
一方、芝限定ランキングも①①②③③②位の成績。
全日本の総合種牡馬ランキングは12年以後、ディープインパクト(15)に首位をゆずり、①②②②②位の成績だが、芝もOK、ダートも平気という意味では断然のエースである。公営を含む昨16年のキングカメハメハの勝利数は、芝：85。ダ：320。障害8。ディープインパクトは、芝205。ダ：99。障害9。ディープの後継種牡馬はもう

『成績欄にチークPも表記』
プリンカーのP表記に加え、チークPも着用もPで表記します。
成績欄の最下段、1着馬名の前にPと表記します。なお、今回のプリンカー着用は今までの通り、表記のチークPも着用については事前の公式発表はありません。

7歳でした。25年前の話ですけど、爺がうれしそうに話して、「ああ、おぼえてる」
が、そう私は言った。
電話のあと、1992年の重賞年鑑と自分の記録ノートを確認した。東京競馬場で小林さんと第42回ダイヤモンドSを見ている。1着ミスターシクレノン(善臣)、2着アローガンテ(塩村)、3着ロングシンホニー(河内)で、3頭とも小林稔厩舎だ。「コバヤシシノル」で買ったのだから、小林実さんは馬連の万馬券を千円取り、孫と私を連れて熱海の温泉へとシャレたのだ。すばらしい思い出だ。
第67回ダイヤモンドSは騙馬9歳のファタモルガーナの単勝勝利。京都牝馬Sはウィンファピラスの単勝で勝利!

16頭に達し、カメハメハのそれも今春は15頭になった。「タイプ系」と「カメハメハ系」の時代はこれから大きく発展するのである。
この時期は、迷ったら、タフな芝もこなせるキングカメハメハのシーズンである。京都牝馬Sの人気馬アットザシーサイドも、レッツゴールドンキもともに父はカメハメハ。
なおかつ、母の父はともにサンデーサイレンス直仔。ディープの父でもあるサンデーサイレンスの血をベースに、少しタフな芝の方がいいカメハメハの総合力がフルに生きてくる。
先週は2重賞を制したハーツクライの週だったが、東京Rクラッドサバス、⑪Rラブラドレイト、⑦Rアルスフェルトに、京都牝馬Sの2頭。今週はカメハメハ産駒が快走する。▲柏木

東京リーディングジョッキー (2017年2月12日終了現在)

順位	騎手名	年令	所属	①特別着別	②重賞	③着外	着外率	連対率	通算勝利
①	ルメー	37	(フリー)	8③①	7	2	18	.429	557
②	戸崎	36	(田島俊)	7③	9	4	31	.314	666
③	内田博	46	(フリー)	7①	0	8	41	.125	1033
④	北村宏	36	(フリー)	6②	2	29	.279	1207	
⑤	田辺	33	(フリー)	4①	6	5	39	.185	645
⑥	津村	31	(フリー)	3①	3	0	25	.194	332
⑦	松岡	32	(フリー)	3①	1	2	31	.108	744
⑧	吉田隼	33	(フリー)	3①	0	2	13	.167	701
⑨	横山典	48	(フリー)	2②	4	4	14	.250	2644
⑩	大野	30	(フリー)	2②	3	4	34	.116	371

勝負の一手
郡和之

京都11R スナッチマイインド
昨年のこのレースでも◎を打った馬。抜け出すとソラを使うので、直線早々と先頭に立ったところで頭を抱えてしまったが、悪い予感の中しな内へ蛇行してしまった。かなり乗り難い馬だが、浜中Jとは(4・5・1・0)と抜群の相性。最高のパートナを背に重賞制覇へ。



《2月12日(日)のWIN5》

WIN①...京都⑩R	⑩モルトベネ	③人気	人気票数
発完票数 5989106票	残り票数 1171370票	②人気	人気票数
WIN②...東京⑩R	⑩ブラズンドゥリス	②人気	人気票数
残り票数 260729票	残り票数 18383票	⑥人気	人気票数
WIN③...小倉⑩R	⑨トミケンシャルゴー	③人気	人気票数
残り票数 2900票	残り票数 2900票	②人気	人気票数
WIN④...京都⑩R	⑥サトノクラウン	②人気	人気票数
WIN⑤...東京⑩R	①スワーヴリチャード	②人気	人気票数

的中票数 825票 払戻金 36万5970円
次回へのキャリーオーバー 0円